



日東ベスト株式会社

NittoBest

証券コード 2877



BUSINESS REPORT 2020

第82期 報告書

.....
平成31年4月1日 ▶ 令和2年3月31日



株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第82期（自平成31年4月1日 至令和2年3月31日）の業績の概要や取組みについてご報告申し上げます。

また、当社におきましては、このたび大沼一彦が代表取締役会長に、塚田莊一郎が代表取締役社長にそれぞれ就任いたしました。

新しい経営体制の下、時代の変化に対応しながら、安定した経営基盤を作りあげるよう邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

塚 田 莊 一 郎

● 当連結会計年度の概要

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな景気回復基調で推移していましたが、2月以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によるインバウンド需要の減少や休校・外出自粛要請等により国内経済は甚大な影響を受けております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への意識の高まりや低価格志向継続、競争激化等厳しい経営環境で推移いたしました。さらに上記状況から、給食を含む外食産業が大きく影響を受けております。

このような環境のなかで、当社グループにおきましては、販売力の強化、お客様のニーズを捉えた商品開発、お客様への迅速な対応に努めて参りました。その結果、当連結会計年度における売上高は、542億6千1百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

利益面に関しましては、営業利益は13億3千6百万円（前年同期比40.9%増）、経常利益は14億4千6百万円（前年同期比38.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は日配食品部門での減損損失の計上により4億5千2百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

事業部門の区分別の売上高は、次のとおりであります。

【冷凍食品部門】

冷凍食品部門につきましては、432億6千3百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

【日配食品部門】

日配食品部門につきましては、76億2千7百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

【缶詰部門等】

缶詰部門等につきましては、33億7千万円（前年同期比11.1%増）となりました。

なお、3月以降は新型コロナウイルスの感染拡大による影響を大きく受けております。

● 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による世界的な消費の落ち込みや生産活動の停滞等、世界及び国内経済の大きな減速が予測されます。

食品業界におきましては、少子高齢化等による社会構造の変化や業態を超えた競争の激化により厳しい状態が続いており、また異物混入防止や放射能、アレルギーへの対応も含めた安全・安心な食の提供や環境問題への対応等、企業に求められる社会的責任が増大してきている事に加え、新型コロナウイルスによる影響から、業務用食品業界においてはより厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような環境変化へ対応するとともに、お客様ニーズの収集に努めて顧客満足を推進し、品質の維持向上と安全・安心な商品の安定的な供給体制を維持するために検査・分析能力等の更なる充実を図り、グループ全体の収益性の向上に取り組んで参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「日東ベストなら安心だね」

その一言が聞きたくて、安全・安心への取り組みを重ねております。

検査・分析による安全性の検証

当社中央研究所では、電子顕微鏡や自動免疫蛍光測定装置などの高度な機器を揃え、安全性の検証及びお客様のご指摘に対応した各種分析・検査を行っております。

具体的には、食品衛生上、最も重要である食中毒菌等の微生物はもちろんのこと、アレルギー物質や食品添加物等が挙げられます。

法令による分析法の変更や社会のニーズに合わせた検査法の導入などを適切に行っております。

今後も食品の安全・安心を脅かす問題に迅速かつ適切に対応できるよう努力してまいります。

各種検査の検査能力・精度の確認

食品に関する様々な検査分析を行っておりますが、得られた値の精度を担保するために外部機関の技能評価試験を活用しております。

世界的規模で行われる「食品化学分析技能評価スキーム」をはじめとして、「細菌検査技能評価試験」「食物アレルギー物質検査 精度管理サーベイ」などに参加しております。

これら技能評価試験においては、検査値について統計処理が行われ参加者の客観的な評価がなされておりますが、当社の検査技能・精度とともに問題がない結果が得られております。



電子顕微鏡



自動免疫蛍光測定装置



腸管出血性大腸菌の検査

商品開発TOPICS (ヒット商品と開発の状況)

給食向け商品の充実

学校給食向けでは、卵・乳・小麦を使用せずアレルギーに配慮した2つのフレンズ。2つのフレンズとは、おかずは「フレンズミール」、デザートは「フレンズスイーツ」です。特に、フレンズミールは、食塩相当量に配慮しつつ、更に栄養価(鉄・カルシウムほか)を付与し充実して参ります。フレンズスイーツでは、フレンズクレープ「沖縄県産パイナップル」が新しく加わりました。これからも「みんなと一緒に楽しく同じものを食べたい!そんな思いに応える」を基本理念にフレンズスイーツとフレンズミールの「2つのフレンズ」を拡充して参ります。



盛付例

フレンズクレープ「沖縄県産パイナップル」

惣菜向け商品の充実

お重商品として、カツ重専用の「熟成三元豚カツ重用ロースカツ」を発売。また、おかず商品として、厚くて旨い「旨厚ハムカツ」、新タイプの麺を使用した焼うどん「あごだし醤油焼うどん」「にんにくが決め手!ソース焼うどん」を新発売。更に、辛さの中に旨みを追求した「麻辣焼そば」「花椒香る四川風麻婆豆腐」を新発売いたしました。



盛付例

熟成三元豚カツ重用ロースカツ

外食向けハンバーグの充実

ハンバーグ市場への更なる深耕を図るため従来の個食タイプハンバーグの他に大量調理も可能な多数個包装/バラタイプのハンバーグロティール/6規格を新発売いたしました。デザートでは、「美味」・・・こだわりのクオリティ、「映え」・・・彩、「易い」・・・使い易さ、これら3つのテーマをコンセプトに「スフレロール(いちご)」「ホールタルト(いちご)」を新発売いたしました。



ハンバーグロティール

硬さ調整食のさらなる充実

病院や介護施設向けの軟菜食ブランド「ホスピタグルメ」からは、昨秋に「HG豚やわらかヒレカツ(30)」を、今春には「HG牛しぐれ煮」「HG紅白ゼリー(いちご&ミルク)」「果物と野菜ゼリー(乳酸菌入り)」の3品を発売し、日東ベストらしい畜肉製品とデザートのラインナップをさらに充実させました。また、盛付済み冷凍おかずセットは「スムーズグルメセット」に加え、「ホスピタグルメセット」を発売し「調理現場の人手不足」を背景とした需要の拡大に応じて参ります。



盛付例

HGセットN 豚肉の生姜焼き

海外事業展開

ジャパン・ベスト・フーズ

当社は総合商社の双日グループと共同で、ベトナムのホーチミン市近郊ロンドウック工業団地内にジャパン・ベスト・フーズ (Japan Best Foods Co., Ltd.以下、JBF) を設立し、平成29年3月より稼働を開始しております。

JBFは現地コンビニエンスストアや大手量販店向けに日配惣菜の製造販売を行っております。

ベトナムで初めて最新鋭のおにぎり連続生産ラインを導入しております。また、おにぎりの他、弁当・サンドウィッチ・サラダ・麺類等、幅広く供給しております。

日本と同じ衛生管理システムを取り入れ安全・安心で美味しい食品を製造しており、現地ユーザーからは高く評価されております。

今後はさらに供給店舗を拡大し、ベトナムの食に貢献して参ります。



JBF外観



店頭の商品



社内保育園の遠足の様子

仕事と家庭の両立支援

当社では、少子化・高齢化・核家族化の進むなかで、仕事と家庭の両立支援は、継続的 (長期化) 就業を可能とするために重要であると認識しております。

社内保育園の運営

食品メーカーは一般的に女性従業員が多いといわれております。当社でも6割が女性で、特に生産現場は7割近くになります。

女性が働き出して、ようやく仕事を覚えた頃、出産・育児を理由に会社を辞めなければならないことは、本人にとっても会社にとっても大きな損失となり、なんとか仕事と子育てを両立できないかと当時の経営者は考えました。

「親と子どもは近くにいることで、お互いが安心する」という考えのもと、昭和44年事業所内託児所を開設し、現在は保育園として従業員の子育て支援を展開しております。

最近では、育児は「両親が協力して携わるもの」という考えのもと、男性職員に対して育休の取得を奨励するなど、積極的に育児に参画できる環境づくりにも取り組んでおります。

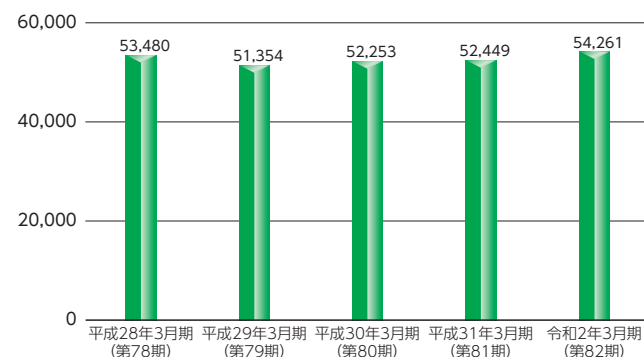
福利厚生サービス導入

働き方改革による「残業削減」「有給消化促進」の次のステップとして、余暇を充実させる支援は大変重要であると考えております。当社では新しい取り組みとして、①育児・介護の生活支援 ②宿泊・スポーツ施設の余暇支援 ③教育に関するスキルアップ支援 ④慶弔ライフプラン支援等、様々な福利厚生サービスが受けられる福利厚生アウトソーシングサービスの導入を開始いたしました。

連結財務ハイライト

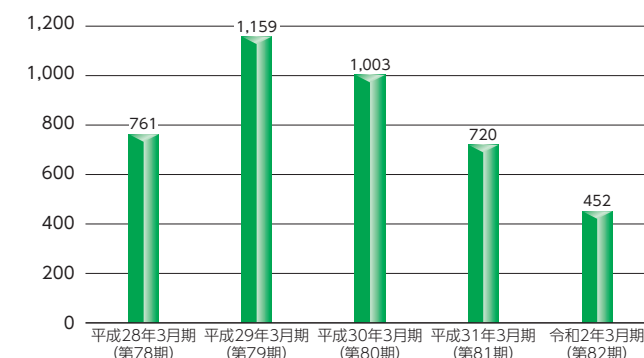
売上高

(単位: 百万円)



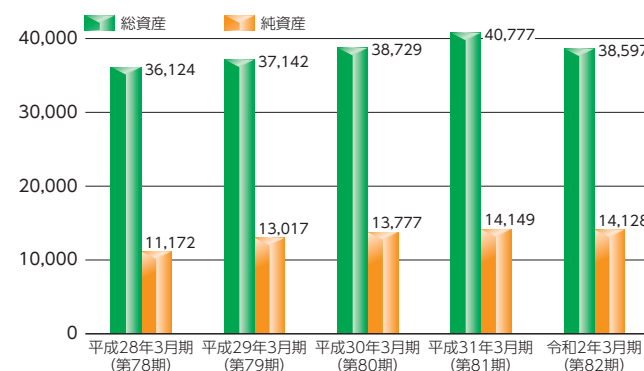
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 百万円)



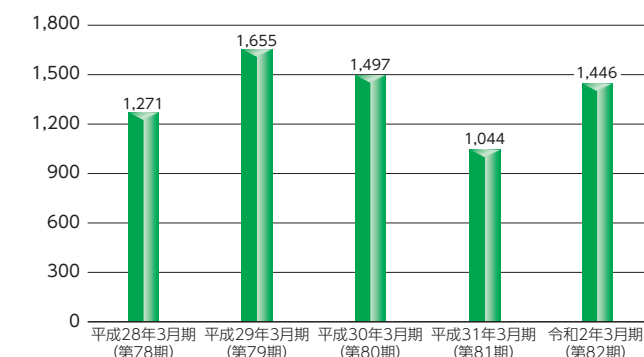
総資産/純資産

(単位: 百万円)



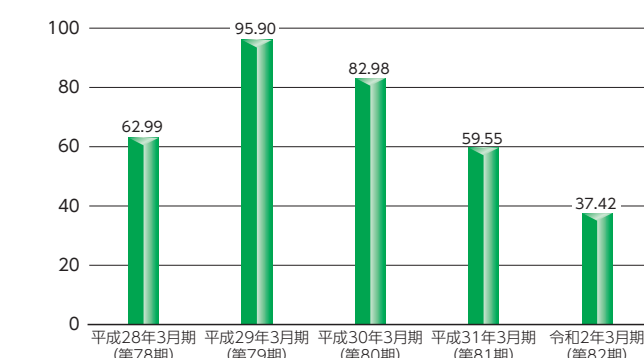
経常利益

(単位: 百万円)



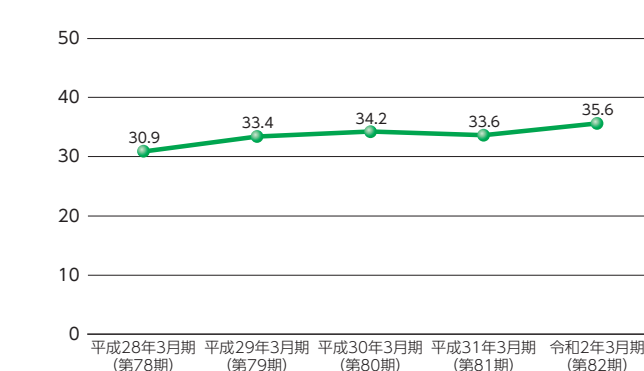
1株当たり当期純利益

(単位: 円)



自己資本比率

(単位: %)



連結財務諸表（要約）

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (令和2年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成31年3月31日現在)	科目	当連結会計年度 (令和2年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成31年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	18,698	20,256	流動負債	16,160	17,663
固定資産	19,899	20,520	固定負債	8,309	8,964
有形固定資産	15,454	16,484	負債合計	24,469	26,628
無形固定資産	123	122	(純資産の部)		
投資その他の資産	4,321	3,913	株主資本	13,779	13,507
資産合計	38,597	40,777	資本金	1,474	1,474
			資本剰余金	1,707	1,707
			利益剰余金	10,600	10,329
			自己株式	△ 4	△ 4
			その他の包括利益累計額	△ 25	206
			非支配株主持分	374	435
			純資産合計	14,128	14,149
			負債・純資産合計	38,597	40,777

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	前連結会計年度 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
売上	54,261	52,449
売上原価	42,999	41,961
販売総利益	11,262	10,487
営業費	9,926	9,539
営業利益	1,336	948
営業外収益	224	214
営業外費用	114	118
経常利益	1,446	1,044
特別利益	—	0
特別損失	709	36
税金等調整前当期純利益	737	1,008
法人税、住民税及び事業税	423	364
法人税等調整額	△ 86	△ 8
当期純利益	400	652
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 51	△ 68
親会社株主に帰属する当期純利益	452	720

●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

(単位：百万円)

科目	株主資本						その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の包括利益累計額	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額				
当期首残高	1,474	1,707	10,329	△ 4	13,507	368	3	△ 165	206	435	14,149		
当期変動額													
剰余金の配当			△ 181		△ 181						△ 181		
親会社株主に帰属する当期純利益			452		452						452		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 214	△ 9	△ 7	△ 231	△ 60	△ 292		
当期変動額合計	—	—	271	—	271	△ 214	△ 9	△ 7	△ 231	△ 60	△ 20		
当期末残高	1,474	1,707	10,600	△ 4	13,779	153	△ 5	△ 173	△ 25	374	14,128		

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	前連結会計年度 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,353	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,865	△ 3,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 654	1,787
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	△ 2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,172	△ 54
現金及び現金同等物の期首残高	3,533	3,588
現金及び現金同等物の期末残高	2,360	3,533

個別財務諸表（要約）

●貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (令和2年3月31日現在)	前事業年度 (平成31年3月31日現在)	科目	当事業年度 (令和2年3月31日現在)	前事業年度 (平成31年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	18,369	19,932	流動負債	16,138	17,668
固定資産	18,496	18,638	固定負債	7,700	8,433
			負債合計	23,838	26,102
有形固定資産	14,887	15,279	(純資産の部)		
無形固定資産	122	121	株主資本	12,883	12,112
投資その他の資産	3,486	3,237	資本金	1,474	1,474
資産合計	36,865	38,571	資本剰余金	1,707	1,707
			利益剰余金	9,704	8,933
			自己株式	△ 4	△ 4
			評価・換算差額等	144	356
			純資産合計	13,027	12,468
			負債・純資産合計	36,865	38,571

●損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	前事業年度 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
売上	54,189	52,813
売上原価	44,405	43,532
売上総利益	9,784	9,281
販売費及び一般管理費	8,617	8,399
営業利益	1,166	882
営業外収益	255	211
営業外費用	105	112
経常利益	1,316	981
特別利益	—	0
特別損失	49	36
税引前当期純利益	1,267	945
法人税、住民税及び事業税	334	296
法人税等調整額	△ 19	△ 11
当期純利益	952	660

会社概要 (令和2年6月26日現在)

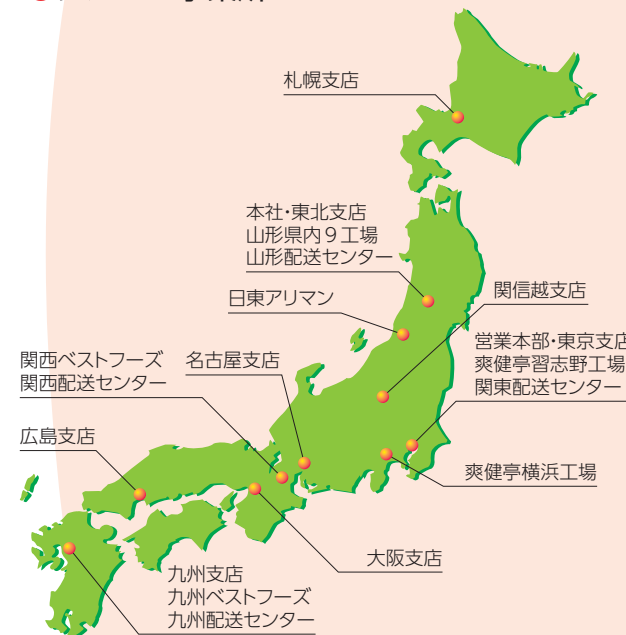
- 商号 日東ベスト株式会社
NittoBest Corporation
- 本社所在地 山形県寒河江市幸町4番27号
- 設立年月日 昭和23年7月
- 会社の目的
 - (1) 罐詰、缶詰ならびに食品の製造販売
 - (2) 冷凍食品、菓子類、乳製品および清涼飲料水の製造、加工、売買および輸出入
 - (3) 農産物、畜産物および水産物の加工、売買および輸出入
 - (4) 肥料、飼料および油脂の製造および売買
 - (5) 食品製造、加工および販売に関連する機器の売買、貸与および輸出入ならびに技術指導
 - (6) 金属缶の製造、売買および輸出入
 - (7) 飲食店および売店の経営
 - (8) 倉庫業
 - (9) 不動産賃貸業
 - (10) 化粧品、医薬部外品、美容および健康関連商品等の企画、研究開発、卸売および販売
 - (11) 上記各号に付帯および関連する一切の事業
- 資本金 1,474百万円
- 従業員数 1,009名（臨時従業員598名は含まれておりません。）
(令和2年3月31日現在)

●役員

代表取締役会長	大塚 沼田 一彦
代表取締役社長	塚内 田 莊一郎
取締役相談役	常務取締役 鈴木 清信
常務取締役	常務取締役 佐藤 光義
常務取締役	常務取締役 内松 田 真帆
取締役	取締役 長瀬 企信
取締役	取締役 阿部 正一
取締役	取締役 阿遠 藤雅
取締役	取締役 渡邊 昭
取締役	取締役 小伊 藤 浩
取締役	取締役 嵯峨 秀夫
取締役	取締役 黒沼 沼田 憲
常勤監査役	黒沼 塚内 直樹
監査役	村山 小野 クナ子

(注) 取締役 黒沼 憲氏は社外取締役であります。
監査役 村山 永、小野クナ子の両氏は社外監査役であります。

●グループ事業所MAP



●株式の状況 (令和2年3月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	12,102,660株
株主数	1,255名

●大株主 (令和2年3月31日現在)

株主名	持株数(株)
日東ベスト取引先持株会	1,334,000
有限会社ウチダ・コーポレート	941,400
日東ベスト従業員持株会	693,000
農林中央金庫	605,010
株式会社山形銀行	600,000
株式会社ウチダ・ホールディングス	527,000
内田 淳	343,128
鈴木 俊幸	306,507
国分グループ本社株式会社	293,611
東洋製罐グループホールディングス株式会社	291,391

◆ホームページのご案内◆

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金及び中間配当金 配当金は毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
- 公告掲載方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
- 公告掲載URL <http://www.nittobest.co.jp/>
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部



<http://www.nittobest.co.jp/>